



国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」  
- You are the key -

高田ロータリー今年の  
スローガン

「友情を深め合い、  
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン  
2560地区ガバナー 佐々木昌敏  
高田ロータリー会長 齋藤 尚明  
幹事 牧野 章一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典  
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

## 第26回例会 ■ 1月16日(金)

No.24

### 会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。第26回例会です。

先週は今年の初例会ということで、村山上越市長において頂き年頭の講話をして頂きました。

お話では今年はなかなか厳しい見通しとの認識でしたが、私たちは暗くなっても仕方ありませんので会員の皆様とともに元気を出して頑張っていきます。

先週は新年早々うれしいこともありました。

新会員が三人、新井徳幸さん、霜村 浩さん、伴 長門さん、が仲間になって下さいました。

皆様には引き続き会員にふさわしい方を積極的にお誘い頂き、新しい仲間を増やして頂けますようよろしくお願い致します。

本日は会員卓話です。岩の原葡萄園社長の棚橋博史さんが『テロワールとは何か』と題してワインに関する興味深いお話を下さるそうです。よろしくお願い致します。

### 出席報告

出席率 94.12%

### ビジター

米山記念奨学生 阿栄さん

### セレモニー

米山記念奨学生阿栄さんへ 米山奨学金寄贈

### 委員会報告

親睦委員会

1月の会員お誕生日 各お祝い

地区青少年奉仕委員会

ボーイスカウト世界ジャンボリー支援の御礼

### 理事会報告

水上年度役員・理事、委員会組織及び60周年事業実行委員会組織について

### 幹事報告

配布物：週報No.23、2015-2016年度理事役員名簿・委員会組織表、60周年事業実行委員会組織表、ロータリーの友1月号

回覧物：日本のロータリー2020年新世紀ビジョン（提言依頼）、ハイライトよねやま、会員増強かわら版5号、春の特別音楽講座パンフ

## 卓話

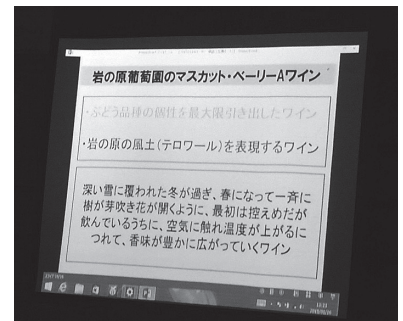
# ワインのテロワールとは何か

棚橋 博史 君



ワインは、土地の特徴を表わすお酒と言われます。これをワイン愛好家の間ではテロワール (Terroir) と呼んでいます。このテロワールとは一体どんなものなのでしょうか。最高峰のワインと称されるロマネコンティというワインもフランス・ブルゴーニュ地方にあるボヌ・ロマネ村の一区画です。この周囲にも有名な畑が並んでいますが、ほんの道路一本隔ただけで別の区画となります。区画が違くと品質も異なり、値段も変わります。これは、傾斜や方角、高さなど土地の地形的違い、粘土質なのか、礫岩質なのかといった地質の違い、気温や降水量、日照時間など気候の違いによってブドウの生育が変わるため、ワインの品質も異なってくるためだと言われてきました。しかし、発酵前に加熱工程のないワインでは、ブドウ果実の表面に着く自生酵母が土地によって異

なることが近年の研究で分かってきました。ブドウに含まれる糖分はブドウ糖であり、果汁に絞ると直ぐに酵母によるアルコール発酵が始まります。多種の自生酵母は、まるで協奏楽のように発酵を進めることが分かってきたのです。酵母の協奏の仕方が異なると、異なった品質のワインが出来上がります。テロワールとは、このように、単に土地の物理的な環境の違いだけでなく、微生物の棲息環境の違いによっても生まれるのです。岩の原葡萄園では、酵母の生育環境を阻害しない有機栽培の区画からとれたマスカット・ベリーAでテロワールを素直に表したワインを作っています。



## 新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。

1年間お世話になった高田ロータリークラブの皆さんとお別れする時期が近付いてきました。クラブの皆さんはもちろんのこと、特にカウンセラーの石倉さんには大変お世話になりました。毎月例会に出席させていただき、「一言」として、自分の生活・学習や活動参加についてお話しをさせていただきました。

そして学友会の懇親会や「ロータリーデー」の活

米山記念奨学生 阿 菜さん

動を通して、貴重な経験や沢山の思い出を作りました。

学習面では、奨学生になったお蔭で、より多い時間を研究に集中することができ、1月13日に修論を無事に提出することができました。感謝を申し上げます。

大変お世話になりました、またよろしく願いたします。

## 2月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
29	2月6日	国際奉仕委員会『演題：未定』	デュオ・セレッソ
30	2月13日	オークション	高田ターミナルホテル
31	2月20日	農林水産省北陸農政局関川用水農業水利事業建設所 所長 藤井 修 様『演題：未定』	デュオ・セレッソ
32	2月27日	高田ごぜの文化保存と発信する会 事務局長 小川 善司様 『演題：未定』	デュオ・セレッソ